



Cure and Care communication

第127号

# C&C コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1  
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>

**ナカムラ病院**  
 介護医療院 **びる**  
 介護老人保健施設 **まいえ**  
 グループホーム **つばい**  
 医療法人ピーアイエ

**特別養護老人ホーム 陽光の家**  
 通所介護事業所  
 居宅介護支援事業所  
 社会福祉法人 双樹会

- 新年のご挨拶 ..... 2p
- 日本慢性期医療学会&全国介護老人保健施設大会の報告 ..... 4・5p
- 作品展「今を生きる作品たち」 ..... 6p
- 令和7年度満足度調査結果報告 ..... 8p



# 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

二〇二四年に施行された「認知症基本法」は、認知症のある方が尊厳をもって暮らせる共生社会の実現を目指すものであり、当院の理念と深く重なります。私たちは、地域の医療・介護・福祉機関と連携し、認知症予防、早期診断・適切な治療、終末期医療まで家族支援を一体的に提供する体制づくりを進めてまいります。

認知症予防が重要視されているなか各地に赴いて認知症カフェを行っています。

またアルツハイマー病治療薬ができ、より早期診断が重要となつていきます。軽度認知障害検出のためのVR機を利用し早期診断に努めています。

認知症初期集中支援チーム立ち上げ、認知症が疑われる人や認知症の人が適切



な医療や介護が行われていない人に対し

集中的・短期的に支援を行っています。急性期病院、回復期リハビリテーション病院退院後、日常生活能力の低下や内科的治療、認知症のため在宅療養困難となられた場合、医療療養、介護医療院や認知症治療病棟で治療を行っています。治療・ケア・生活のすべてにおいて当法人利用者の思いが尊重されるようアドバンス・ケア・プランニングを進めています。終末期、看取りを行っています。

本年も、高齢者や家族が安心して療養できるよう、職員一同、尽力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

ナカムラ病院

病院長 塚野 健

十二月十二日、ナカムラ病院大ホールにて、認知症カフェ「サロン・ド・ファミュー」を開催しました。クリスマスの飾りに包まれた会場には、地域の皆さまをはじめ、入院・入所中の皆さまなど多くの方にお越しいただき、あたたかな雰囲気になりました。前半は当院理事長・中村友美による講話とピアボイスのお芝居が行われ、認知症予防に関わるサプライについて、笑いも交えながら楽しく学ぶ時間となりました。

後半は棒体操第一弾「北酒場」を初披露し、初めての体操にもかかわらず、参加者の皆さまが積極的に挑戦され、笑顔で体を動かす姿がとても印象的でした。続いて宮本さんによるチエロの生演奏や、鈴やカスタネットを使ったリズム遊びを行い、楽しみながら心と体を動かすひとときとなりました。今年も、地域の皆さまと一緒に笑顔になれる認知症カフェを目指してまいります。引き続き、皆さまの温かい応援をお願いいたします。

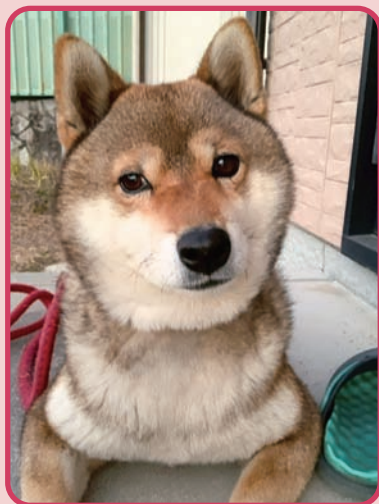
ピアボイス レッド担当 にー



## 私の “家族” ペット紹介

前回から始まった、大切な家族であるペットを紹介するコーナー。今回は特別養護老人ホーム陽光の家、松井誠施設長の愛犬をご紹介します！

名前：トモ  
年齢：11才  
性別：メス  
性格：社交的  
体格：15kg



四国犬系統の豆柴?で10年前に我が家にきました。私と同じ中高年世代となり、大変立派な体格となりました。私の散歩の相棒です。



昭和百年、老健 続く。  
想いを継ぎ 技を磨き 人を繋ぐ



当法人からは5名の職員が参加し、  
内1名の職員が研究発表をしました。

**第36回**  
**全国介護老人  
保健施設大会**  
会期…二〇二五年十一月二十七日・二十八日  
会場…下関市民会館海峽メッセ下関  
シーモール下関シーモールパレス

慢性期医療の匠になろう！  
～坂の上をめざして～



当法人からは24名の職員が参加し、  
内6名の職員が研究発表をしました。

**第33回**  
**日本慢性期  
医療学会**  
会期…二〇二五年十一月六日・七日  
会場…大阪国際会議場



当病棟では主に立位困難な患者さまのトイレ移乗時にErgoを使用しています。使用する事で職員の身体的負担が減ったことや、オムツでの排泄だった方がトイレで排泄可能になったことなどが明らかになりました。一方で患者さまの体格により安全に使用する事が困難な場面もあります。

どの施設も私たちと同じような悩みを抱えながら日々患者さまのより良いケアに繋がるよう課題に立ち向かっている姿に刺激を受けた一日でした。

**移乗サポートロボット  
Ergoの効果と課題**

ナカムラ病院 B5病棟  
看護科長 甲斐 さおり



他の病院や施設の発表の中にも眠りSCANについての発表がありとても勉強になる反面、課題も見えました。私にとって今回学会に参加し、眠りSCANの事を深く学ぶことができ知識・技術向上できたので、この学んだ知識・技術を現場でも活かせるよう努めていきます。

**眠りSCAN使用が  
もたらす効果**

患者スタッフ共に安心したケア提供の為に  
ナカムラ病院 B5病棟  
介護福祉士 正脇 一樹



過去にも発表する機会はございましたが、ポスター発表は初めての経験で、座長、参加者との距離も近く大変緊張しました。演題は「認知症初期集中支援チームの活動と事例検討」で、当該チームの構成・活動の流れから一事例の考察まで発表させていただきました。

このような全国に向け活動を発信する機会をいただいたことに感謝すると同時に、今後も地域との繋がり・支援を大切にしながら業務に邁進していきたいと思えます。

**認知症初期集中支援  
チームの活動と事例  
検討**

地域連携センター 副センター長  
精神保健福祉士 小田 茂樹



日々の業務に追われる中で溜まる職員のストレス。それを軽減させる目的で、アンガーマネジメント技術の習得・活用に取り組みました。各職員にアンガーマネジメントの意義と方法を説明し、業務に取り組んでもらった結果、職員のストレスは僅かに減少するに留まりました。その中で一番使用された方法は深呼吸でした。これからもアンガーマネジメントを一つのツールとして取り入れ、職員のストレスの軽減に取り組みでいききたいと思います。

**イライラよ無くなれ！  
アンガーマネジメントを  
活用して**

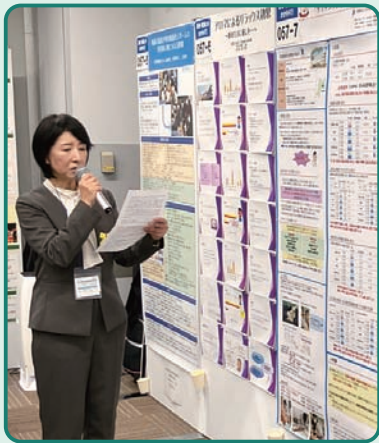
介護老人保健施設まいえー  
介護福祉士 佐々木 仁



デイケアでは、利用中に帰宅を希望されるご利用者さまもいらつしやり、利用中の不安が軽減されるよう作業活動する時間、運動器具を使用する時間などを増やしました。また、環境を変えることで集中して取り組めるように配置替えも行い、視線の先が「帰宅」に繋がらないようにすることで帰宅の訴えは減少しました。ご利用者さまの立場になって考えることが重要だと改めて感じました。今後もご利用者さまの声に耳を傾けて工夫を続けていきたいと思っています。

**帰宅希望のある方の  
環境を変える事で  
みられる変化**

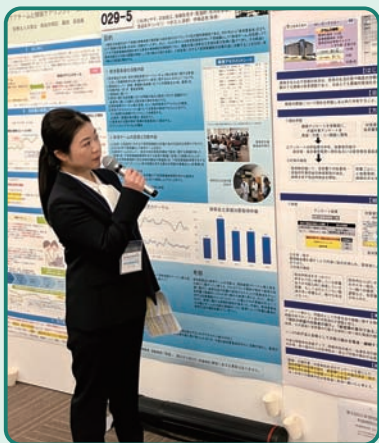
ナカムラ病院 重度認知症患者デイケア  
介護福祉士 山本 有希



ポスター発表では、患者さまの生活機能の維持やその方らしく生活をするための何が必要かを考える取り組みが多く、小さな成果の積み重ねが患者さまの生活を大きく支えていくことを改めて実感しました。その他、医療安全や地域連携などの発表を拝聴し、多職種の方々の視点や意見に触れ、大変貴重な機会となりました。今後はグループホームにおいても入居者さまの日々の小さな変化に気づき、安心して生活を続けられる環境作りに努めて参ります。

**その仕事、  
私にまかせて！  
〜経験を活かしていきたいきと〜**

グループホームつぼい  
介護福祉士 坂本 えりな



一生のうち一度でも腰痛を経験する人は8割にのぼると言われます。医療・介護の現場では、腰痛は患者さまや入所者さまの生活の質、職員の労働意欲を押し下げる一因であり重要課題です。学会では、当法人での腰痛対策がさらに促進するようアンケート・研修・毎日の体操などに全職員と取り組んだことを発表しました。今後も多職種と相談しながら、継続して取り組んでいきたいと思っています。

**腰痛ゼロを目指した  
取り組みについて**

介護医療院ひいろ  
リハビリテーション科  
理学療法士 中村 萌子

# 作品展

今年で二十一回目となる作品展「今を生きる作品たち」を開催しました。ナカムラ病院の患者さま、介護医療院ひろの入所者さま、デイケアにぎや家の利用者さまから、沢山の作品で2階のギャラリーを彩ることができました。

「いつも楽しみにしてるとんよ」「いいのができたね」など作品作りを通し、みなさまからそのような言葉を聞き、私たちはいつも嬉しく思っています。

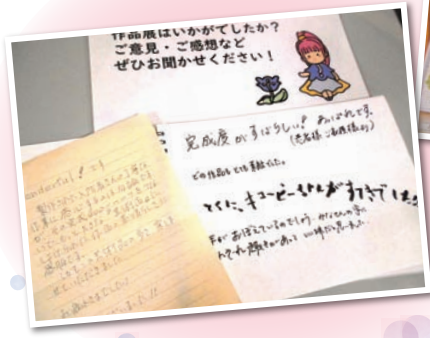
作業療法士はその方の「やりたい」「何かできることがあれば」などの気持ちを大切にしながら日々関わっています。これからも、さまざまな活動を通してみなさまの「今を生きる」を援助していきたいと思っております。

リハビリテーション科

作業療法士 原田 亜佳里

竹内 紗代子

多くの方々から心温まる  
ご感想をいただき  
ありがとうございました



今を生きる  
作品たち

～心をこめて作られた四季折々の作品です～



## 石臼がぐるぐる回転



木元清晴さま



藁をトントン

## 昔懐かしいミニチュア展

湯来西公民館へ認知症カフェでお邪魔した時のことでした。丁寧な作られた農機具や、童謡の歌と共に動くおもちゃ。童心に返ることのできる空間に感動していたところ、製作者の木元清晴さまより、快くこの作品を貸し出してくださるというお言葉をいただき、この作品展が実現しました。

木元さまの作品展は、たくさんの患者さまとご家族、そして職員を笑顔にしてくださっています。

皆さまも是非素敵な空間をお楽しみください。

ナカムラ病院 事務部

大山 由紀乃

スイッチを入ると...

クリップを挟むと動き出す!



～マツムシが弓をひき...  
鈴虫が羽をこすり合わせてきれいな声を響かせます～

### まいえ2「じゃんけん大会・陣取りゲーム」



サンタ相手に  
じゃんけんポン!



相手の陣地に  
風船  
飛んでけ~

# いきいき

## 行事だより

年末行われたクリスマス会の様子をご紹介します。Instagramでは過去の行事の様子もご覧になれます。ぜひご覧ください。

### ひいろ B4「音楽会・おみくじ」



ウクレレの演奏に  
合わせて体操♪



おみくじで  
大吉!

フォローよろしく  
お願いします!



▲医療法人ピーアイエー  
Instagramは  
こちらから



#### ●執筆者経歴紹介●

**児玉 ミチ子**  
(こだま みちこ)

昭和6年6月10日、安芸高田郡甲田町生まれ。20歳で中学校の家庭科教諭となる。60歳で定年退職した後は、農業や体操等に精力的に取り組んでいる。家族に支えられながら、周囲に笑顔と元気を与えている。

春の初めに出るカボチャを買って食べた。その種を野菜くずと一緒に捨てるカボチャが花を咲かせた。試しに理科で習った雄花を取ってめしべにつけてみた。何個もつけてみた。すると去年は四個できたのが、今年はより多くできたので子供達に分けてあげた。娘が料理して届けてくれた。おいしく煮ていた。実を買わなくても、食べた後の種でおいしいカボチャが実ります。皆様も作ってみてはどうですか。畑の隅でも広がってきますよ。できるのを見るのも楽しみの一つになります。いらぬことかもしれませんが、物を大切にすることも楽しみの一つになりますよ。

## ちよつと小話

執筆者は当院に外来通院されている児玉ミチ子様です。日々の生活の様子などを文章にしたためてくださっています。その一部をご紹介します。



# 令和七年度 満足度調査結果報告

当院では、サービス向上につなげていく目的のもと、二年毎に満足度調査を実施して参りました。しかしながら、コロナウイルスが猛威を振るう中で対面での面会が全面禁止となり、それに伴い平成三十年を最後に満足度調査も中止せざるを得ない状況となってしまいました。その後の令和五年にコロナウイルスも第五類となり、面会制限も徐々に緩和。現在も制限はある中ではございますが、面会可能な状況となっております。

そうした中で、満足度調査を復活、今までの調査票をこの機会に見直し、よりお答えいただきやすいよう、ご負担がないようにリニューアルを敢行し実施いたしました。お忙しい中アンケートにご協力いただいたご家族の方々にこの紙面をお借りし御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

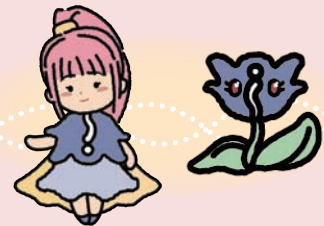
さて、今までどおり入院患者さま・退院患者さまともに実施したわけですが、調査票をリニューアルしたことも起因してか回収率は前回と比較しアップしました。各調査項目「満足」「ほぼ満足」「普通」「やや不満」「不満」までの五段階評価とし、その他当法人のホームページ・インスタグラムの認知度や当院を選んだ理由、今後のサービスの希望や、ご要望・ご質問を伺いました。調査結果ですが、入院患者さま・退院患者さまともに概ね良い結果をいただきました。いただいた具体的なコメントについては、改善を要する必要があるかどうか、早急に検討して参ります。

今後もホスピタリティの精神を忘れず、患者さまとご家族に寄り添った観点のもと、よりニーズに合った選ばれる病院を目指し、職員一同サービスを提供していきたいと思っております。

ナカムラ病院 地域連携センター  
副センター長 小田 茂樹

## 看護・介護の理念

我々看護・介護職は、患者さまの自立を目標に精神的、肉体的苦痛を軽減し、尊厳を持って安心・安全な療養生活ができる看護・介護を提供します。



## ピーアイエー理念

### 我々グループは幸齢社会を創ります

我々グループは、今後増大する高齢者の医療、福祉の要望や要請に対応したサービスを創造する社会的使命を自覚し、精神的、肉体的苦痛や負担を軽減し、残りの人生を安心して幸福に送って頂ける環境を提供します。

## 今月号の表紙のご紹介

今回の表紙は、当法人の患者さま・入所者さま・利用者さまの作品です。編集後記にも記載があるように、六ページに作品の紹介がありますので御覧ください。

なお、公式インスタグラムではナカムラ病院の活動や展示についての投稿をしています。是非フォローをお願いします。

編集長



## 編集後記



年齢を重ねてから「ものをつくる」ということにとても魅力を感じるようになってきました。何もないところから何かが出来上がっていくさまに心を動かされます。

今号六ページでは、「作品展」と題して、患者さまがリハビリで作成された品々を紹介しております。それぞれの感性で表現された、どれも素敵な作品たちです。毎年開催しておりますので、来年もぜひ当院ギャラリーで直接ご覧いただきたく思います。

私自身も、長らく遠ざかっていた編み物を久しぶりにしてみようと思っております。

(S)